

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
こども学科											
表現とこどもの運動											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	演習	時間数	15	単位	1
担当教員	前嵩西珠世			実務 経験	有	職種	スポーツクラブこどもスクールインストラクター				
授業概要											
子どもたちが自分の思いや考えを他者に伝えられるようになるため、保育者は様々な方法で表現ができる環境設定をしなければならない。年齢や環境に応じた動きや運動遊びを習得するとともに、子ども同士がどう工夫し、表現し、仲間とよりよいかかわっていくことができるのかを、発達段階に沿って展開させることを学ぶ。また、子どもたちが楽しく表現運動することができる安全性について理解を深める。											
到達目標											
表現運動における援助者の役割、身体表現活動の留意点について理解し、相手に伝えることができるようになること。また、生活環境によって豊かな感性が育まれるかどうかは変わってくることを理解し、表現活動に適した環境設定を提案できるようになることを目標とする。表現遊びや表現運動が5つの領域に相互に関わり成り立っていることを理解し、援助者として発達状況に応じた援助法を習得していく。											
授業方法											
子どもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現遊び運動の実践例かイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に深める。											
成績評価方法											
積極的な授業参加度、授業態度によって評価する（40%） 試験と課題を総合的に評価する（60%）											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義開始時間は厳守。開始後10分までは遅刻、それ以上の遅刻は欠席とみなす。ただし、受講は可能。保育者として運動するにふさわしい服装にて参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	社会的背景の理解										
第2回	子どもの発達と運動について										
第3回	運動遊びの基本的な動き										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

こども学科

表現とこどもの運動

第4回	身体コントロール能力の向上
第5回	子どもの表現運動Ⅰ
第6回	子どもの表現運動Ⅱ
第7回	発達段階と表現運動の実践（表現運動遊びの実践）
第8回	表現運動（運動遊び）における安全指導